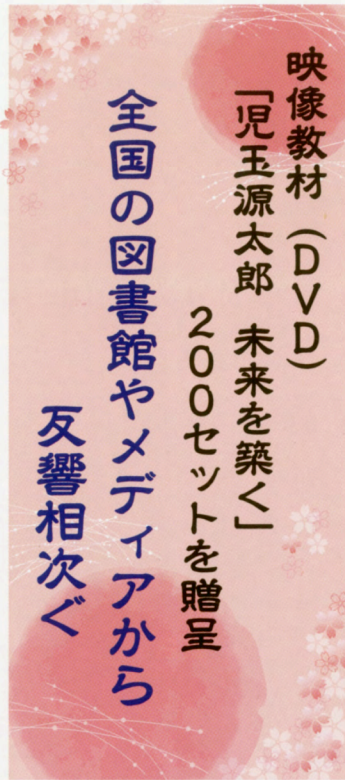


次世代への贈り物として制作、児玉源太郎の生涯を描いた映像教材（DVD）「児玉源太郎 未来を築く」（全3巻）が大きな反響を呼んでいます。

明治150年を迎えた2018年（平成30）に計画、19年と20年の2か年で製作したDVDは、当初の200セットのうち100セットを昨年10月8日、周南市の小学校、中学校、高校、大学、図書館、市民センターに、残り100セットを10月から11月にかけて国会図書館をはじめ、全国47都道府県の中央図書館、後藤新平記念館

（岩手県奥州市）、小村寿太郎記念館（宮崎県日向市）、新聞社やテレビ局など関係機関に贈呈しました。トヨタカローラ山口（トヨタ社長）に製作費全額をご支援いただき、大きな力になりました。

さらに、全国の350人を超える顕彰会会員を対象に100セットを追加製作、注文が殺到して11月中旬に在庫が底をついたため、再度100セットを発注して事務局と美術博物館、文化会館で頒布しています。1セット5000円。在庫に余裕がありますのでご遠慮なくお申し付けください。



本 丁 通 信

ほんぢょうつうしん

編集・発行
 児玉源太郎顕彰会
 〒745-0874
 山口県周南市公園区5854-41
 周南文化協会 内
 TEL. 0834-22-8190

印刷 (有) 精文社
 山口県周南市若宮町1-55
 TEL. 0834-21-1611

周南市への贈呈式は、山口放送ニュースで放送されたのをはじめ、読売新聞、中国新聞、山口新聞、日刊新周南にも掲載されました。全国の図書館からもDVD上映の問い合わせが相次ぎ、予想以上の反響に驚いています。

初代会長として盤石の礎を築かれた小川亮さん（平成31年1月逝去）のご遺族から「素晴らしいDVDが出来ました。分かりやすくまとめてあり、父が生きていればさぞや喜んだと思います」、東京・児玉家の児玉紀さんから「立派な顕彰活動をしていただき、大変嬉しく感じています」、後藤新平記念館からも「顕彰会を発足させて4年余り。素晴らしい活動に敬意



2年をかけて完成、贈呈されたDVD全3巻



テレビの報道をはじめ、各新聞にも掲載

を表します。これからさらに交流を続けていきましょう」との声を寄せられました。

贈呈したメディアは地元だけでなく、東京本社各新聞社論説委員や編集委員にも及んでいます。毎日新聞社の編集委員からは「立派な取り組みをしておられますね。活動を伝える会報なども充実していて驚きました」と直接電話をいただきました。

以上がDVD完成後の経過と反響です。地元をはじめ、全国的に児玉源太郎の生涯から学んで未来を築く上で役立つことを期待します。

コロナ禍のこの1年 地に足をつけた活動を

児玉源太郎顕彰会が発足してこの6月で5年になります。盤石の礎を築かれて平成31年1月逝去された初代会長の小川亮さん（元徳山市長）の後を継いで、令和元年5月に理事の山下武右さん（山下内科医院院長）が2代目会長に就任、新しい体制が動き始めました。

わずか5年足らずで、会報「藤園」（年1回）、ニュースレター「本丁通信」（年2回）の発行をはじめ、発足翌年に児玉源太郎の命日7月24日を「藤園忌」と定めて児玉神社と菩提寺の興元寺にお参り、「藤園忌」茶会と俳句募集を始めました。今年で5回目を迎えます。2年がかりで製作した映像教材（DVD）「児玉源太郎 未来を築く」（全3巻）も昨年10月から11月にかけて周南市の小学校、中学校、高校、大学、図書館、市民センターをはじめ、国会図書館、全国47都道府県の中央図書館などに計200セットを贈呈、普及活動に取り組みました。

一昨年暮れ、中国・武漢に端を

発した新型コロナウイルスはアジアからヨーロッパ、さらにアメリカ、アフリカへと広がり、猛威を振るっています。日本でも昨年2月頃から影響がはじめて3月には顕在化、4月に入ると政府は「緊急事態宣言」を発令、私たちは未曾有の辛い体験を余儀なくされました。5月末に解除されたものの、一進一退を繰り返しながら夏から「GO TO」キャンペーンを展開、人の移動が増えました。昨年暮れには感染者がうなぎ上りに増えて年が明けた1月7日、政府は東京、神奈川、埼玉、千葉の首都圏1都3県を対象に「緊急事態宣言」の再発令を決定。さらに13日には大阪、京都、兵庫、愛知、岐阜、福岡、栃木の7府県を「緊急事態宣言」に追加することを決めました。

現代社会に身を任せて生きてきた私たちが、戦後最大の危機とも言われる新型コロナウイルスの感

染にこの一年間、翻弄されています。百年に一度の世界的な感染（パンデミック）に現代人の明快な答えはありません。仕事も、生活も、そして社会の様相も一変、戦後の豊かさに抱かれてきた価値観を根底から問い直しています。

顕彰会の活動も大きな影響を受けています。昨年5月の役員会、総会を书面開催したのをはじめ、7月の「藤園忌茶会」を中止するなど活動が制約されています。命日の7月24日は役員10人余りで児玉神社での命日祭、興元寺での供養を執り行いました。この日は雨のため墓前供養を止めて本堂での

供養に変えました。「藤園忌俳句」は例年より1か月早めて6月と7月で募集、8月に選考して9月22日に表彰式と選者の一人、宇多喜代子さんの記念講演を周南市文化会館3階展示室で開催しました。間隔を置いてイスを並べましたが、それでも70人が熱心に聴講されて大好評でした。

平成30年の明治150年で構想を練り、翌年から令和の新時代にふさわしい事業として2年計画で仕上げたDVD「児玉源太郎 未来を築く」製作などコロナ禍にあっても地に足をつけた活動を続けています。皆様のご支援とご協力に深く感謝します。



興元寺本堂での第4回「藤園忌」供養



第4回「藤園忌俳句」表彰式での記念講演

児玉源太郎から後藤新平、新渡戸稲造へ

120年の時を超えて 新たな物語が動き始める

児玉源太郎顕彰会 事務局長 西崎博史



す。ありがとうございます。

後藤新平へ

ふるさとに児玉源太郎（1852～1906）の顕彰会を、との念願を実現してこの6月で5年が経ちます。初代会長の小川亮さん（元徳山市長）は平成31年1月逝去、同じ年の5月、令和の時代とともに理事の山下武右さん（山下内科医院院長）が2代目会長に就きました。

総会や講演会、設立翌年から始めた茶会や俳句などの「藤園忌」行事も定着、次世代への普及をめざした映像教材（DVD）「児玉源太郎 未来を築く」（全3巻）も2年がかりでようやく完成、昨春秋に200セットを地元の学校、図書館、市民センターをはじめ、全国47都道府県の中央図書館など関係機関に贈呈しました。

コロナ禍でさまざまな制約を受けながらも着実に成果をあげてきました。皆様方の温かい励ましが顕彰会への大きな力になっていま



台湾総督児玉源太郎と民政長官後藤新平

台湾総督府の第4代総督として児玉源太郎は、民政長官に後藤新平（1857～1929）を起用して近代化の基礎を作り上げました。このような背景を理解するために顕彰会は平成31年2月台湾への歴史の旅を開催、昨年3月の第2回台湾の旅はコロナ禍でやむを得ず中止しました。状況を見て落ち着けば再開したいと考えています。

後藤新平顕彰会（山口了記念会長）

が事務局を置く岩手県の奥州市立後藤新平記念館（佐藤彰博館長）へ一昨年暮れ、児玉源太郎顕彰会から会報「藤園」、ニュースレター「本丁通信」、明治150年記念事業としてまとめた冊子「未来の君たちへー明治維新百五十年回想と顕彰ー」など資料一式をお届けしました。早速、後藤新平記念館からお礼状とともに記念館パンフレットと後藤新平顕彰会会報が届きました。「今後さまざまなイベントや情報などで交流を深めていくことが出来れば幸いです」と。その後

双方の顕彰会役員らが会員として入会、情報紙などを通じて交流を重ねています。コロナ禍が収束して人の往来が出来るようになれば後藤新平を訪ねる岩手の旅を企画したいと考えています。

新渡戸稲造へ

台湾では後藤新平の下で新渡戸稲造（1862～1933）も製糖業などで手腕を発揮しています。新渡戸稲造は盛岡出身の教育者で、アメリカ留学後母校の札幌農学校教授、台湾では総督府技師、大学でも農学博士、法学博士として京大、一高、東大で教えて東京女子大校長も。クリスチャンとして国際親善にも尽くし、英文「武士道」

は広く読まれました。

札幌農学校は北海道大学の前身です。日本で最初の大学、学士授与機関として創立されました。クランク博士の「BOYS BE AMBITIOUS（少年よ大志を抱け）」の一文は良く知られています。2期生として学んだ新渡戸稲造は豊かな才能を生かして幅広い活躍をしました。貧しくて義務教育を受けられない青少年のために遠友夜学校を創設、1894年（明治27）から1944年（昭和19）まで50年間継続、5千人以上が学んで巣立ちました。

昨年11月中旬に株式会社トクヤマの横田浩社長から、札幌遠友夜学校記念館建設をめざして活動している「一般社団法人新渡戸稲造と札幌遠友学校を考える会への支援を」と児玉源太郎顕彰会へ依頼がありました。横田さんは北大の卒業生で現在北大東京同窓会会長の卒業生の顧問です。児玉源太郎顕彰会発足以来の会員としても温かいご支援をいただいています。

児玉源太郎にのちを吹き込まれた後藤新平。後藤新平は新渡戸稲造の力を得て台湾の礎を作り上げました。児玉源太郎から後藤新平、そして新渡戸稲造へと物語が

つながりました。顕彰会からとりあえず第一弾として支援の申し出をしました。早速、「(一社)札幌農学校同窓会理事長、(一社)新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会理事長の松井博和さんから、「ご寄付を賜り、有り難うございます。私は新渡戸研究者ではありませんが、後藤新平の招きで1901年台湾に行き、砂糖産業の近代化に貢献したことは十分承知しており、その陰に児玉源太郎がいたことも存じております。児玉源太郎・後藤新平・新渡戸稲造の3ビッグライオンが120年の時を超えて繋がり、周南市・奥州市・札幌市の3市と関係者の交流が盛んになると、とても素晴らしいことと思います」と返信がありました。

新渡戸稲造と札幌遠友夜学校

貧しくて働かざるを得ない子どもたちや晩学者のために学びの場を、と新渡戸稲造とメリー夫妻(結



新渡戸稲造とメリー夫人

婚後に萬里子と改める)によって創設されました。札幌農学校、北大の先生や学生、札幌独立基督教会の有志たち700人以上が教壇に立ちました。授業料は無料。明治、大正、昭和と新渡戸稲造が逝去後も含め50年間にわたり、人格尊重・自由・平等・博愛のもとで5千人以上が学んだと言われます。

「無欲の奉仕精神」「何人にも悪意を抱かず、すべての人に慈愛の心を持って」「学問より実行」「人生の目的は人間として完成することにある」の教えが原点となり、多くの有為の人材を輩出しました。

2012年12月、札幌市で開催された新渡戸稲造生誕150年記



札幌遠友夜学校記念館イメージ図

念講演会で「新渡戸稲造と札幌遠友夜学校」の記憶がよみがえり、その活動を語り継がなければ、と2年後に一般社団法人の考える会が設立されました。

夢と希望で地域・国・世界の未来を創る場「札幌遠友夜学校記念館」を1万人の皆さんとともに、を合言葉に建設募金の活動を始めました。新渡戸稲造や内村鑑三らから札幌農学校の精神に影響を受けた人たちは「札幌の子」と呼ばれます。

記念館のイメージは1階が展示室、ラウンジ、多目的ホール、2階が図書室、談話室、書庫など。札幌市中央区南4条東4丁目の新渡戸稲造記念公園の一角に2023年建設予定。



札幌遠友夜学校記念館の建設予定地

記念館建設にご支援を

「新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会」では最終5千万円を目標に「私たち、1万人の新渡戸の子」として一緒に頑張りませんか。ご支援をお待ちしています。募金額は2千円以上幾らでも構いません。児玉源太郎顕彰会の皆さん、日本の近代化に尽力された先人たちに感謝を捧げながら心温まるご支援をお願いします。

(納入方法)

・ゆうちょ銀行ATMでの口座間送金

記号 19020
番号 3988211



加入者名

・ 遠友夜学校を考える会

・ 北洋銀行本店営業部 普通預金

口座番号 6925551

加入者名 一般社団法人

・ 新渡戸稲造と札幌遠友夜学校
校を考える会 記念館建設

口座

・ 北海道銀行本店営業部 普通預金

口座番号 3274986

加入者名 (社) 新渡戸稲造と

札幌遠友夜学校を考える会

記念館建設口座

※銀行口座ご利用の場合は名前と住所を次の事務局へご連絡を。

・ ふるさと納税型 「クラウドファンディング」

・ 税控除限度額内なら2千円の手数料を引いた額が戻ります (還付・控除)。

考える会ホームページ

(<http://niobe-enyuorc/>) をご覧

ください。

(お申込みとお問合せ)

060-0061 札幌市中

中央区南1条西5丁目8 愛生館

ビル 一般社団法人新渡戸稲造

と札幌遠友夜学校を考える会

Fax 011-241-1150

Eメール info@niobe-enyuorc

新刊紹介

李登輝秘録

河崎真澄 著



台湾の民主化や国際社会における地位の確立を進め、昨年7月30日97歳で逝去された李登輝氏。「日本人」として育ち、台湾人として生きた生涯は波乱に富んでいます。

産経新聞朝刊で2019年(平成31)4月3日から2020年(令和2)2月2日まで78回にわたって長期連載された「李登輝秘録」を再編、大幅に修正加筆して刊行されました。著者は台北支局長や上海支局長を経て2015年から論説委員の河崎真澄氏。

当初は乗り気でなかった李登輝氏は連載が進むうち、長時間のインタビューだけでなく、台湾や日本、中国や米国など幅広い人々の声を聞き、文献を集めて分析された客観的な記事に納得されたとい

います。生涯を通して台湾現代史の秘話も伝えています。

最終回の紙面で「人あまり言ったことはないが(自分が死を迎えたら)遺灰は新高山にまいてほしい(と家族に頼んでいる)。死ぬことはなにも怖くない。日本軍人として戦争に行った。総統としても働いた。最も高い山から台湾を見守り続ける。いつまでも離れない」と心境を語っています。「私」を捨てて台湾のために働くことだ

けを考え続けた元総統の言葉に感銘を覚えます。

2020年7月31日初版。

産経新聞出版。1700円(税別)。

明治維新の意味

北岡伸一 著



明治維新とは何だったのか。「廢藩置県」に代表されるように、そ

れまでの政治体制を根本から変える一大革命です。著者は日本外交

史の第一人者で東京大学教授、在ニューヨーク国連代表部大使、国際大学学長などを歴任、2015年から国際協力機構(JICA)理事長。

毎日新聞書評(昨年12月26日付)で張競氏(明治大学教授・比較文学)は「着眼の斬新さ、論述の明晰さ、目配りの広さにおいて群を抜いている」と紹介。最大の特色は政治外交史の視点から政治決定の過程を捉え、合意形成がどのように達成されたかを検証したこと。

長い間、学界ではマルクス主義的な視点で明治維新を理解する傾向が強く、その結果、世界的な、比較史的な視点が足りず、その限界を感じていた著者は現代の途上国が直面する課題を念頭に置きつつ、明治維新の世界史的な意義を問い直そうと試みました。

日露戦争の時期まで続いた民主化の過程としての「明治革命」のスピードの速さに驚きながら著者が注目したのは「公議輿論」。身分は低くても優秀な人が拔擢されて活躍する能力主義の土壌が、活発な議論を生み、より良い政治決定がなされていくことを可能にしました。そこに学ぶべき「明治革命」の精神があります。

2020年9月20日初版。
新潮選書。1750円(税別)。

台湾の米で日本酒造り 周南市の酒造会社で 台湾出身の陳韋仁さん

児玉源太郎のふるさと、周南市の酒造会社「はつもみち」(原田康宏社長)で台湾の米を使って日本酒造りをした台湾出身の蔵人がいます。

陳韋仁さん(40)がその人。陳さんは2008年(平成20)から島根大学に留学。日本酒に魅せられて卒業後は旭酒造(岩国市)に就職、その後、李白酒造(松江市)や木次酒造(雲南市)で蔵人の経験を積み、日本統治時代の台湾で日本人農学者らが開発した「台中六十五号」を使って酒造りを研究してきました。

日本と台湾は食の基本である米で深くつながっていると陳さんは話します。陳さんにその思いを綴っていただきました。

台湾と日本をつなぐ酒

— 台中六十五 —

陳 韋仁

私は台湾・台南市出身、2008年に来日して現在は島根県出雲市に住む蔵人、陳韋仁と申します。



醸造に余念がない陳韋仁さん

昨年暮れから株式会社はつもみちで酒造りに取り組みました。

例えば、児玉源太郎につながる寄稿は初めてではありません。島根大学在学中の10年前にフリーペーパー「まるごと周南」の依頼で台湾に残る児玉源太郎関連物について書いたことがあります。

私は、戦前の台湾で開発された蓬莱米「台中六十五号」を栽培し、毎年異なる蔵で自ら設計・管理した日本酒「台中六十五」を仕上げる挑戦を2017年から続けています。より多くの人々に、台湾と

日本は食の基本である「米」と深くつながっている」と知ってもらいたい思いから、台湾の米品種と日本の技術で酒を完成させます。資金はクラウドファンディングを利用して、台湾と日本から支援していただきました。

名実とも台湾と日本をつなぐ酒を目指しています。

台湾蓬莱米の原点は日本米にあります。日露戦争後、日本国内の食糧問題改善のため、第4代台湾総督の児玉源太郎の訓令により台湾は日本の食糧供給システムに併入されました。しかし、当時の台湾に長粒のインディカ米しかなかったため、日本人の口に合わず長年かけて品種改良しても日本市場では安値しか付けられない状況でした。

日本米の栽培実験は1896年から始まりましたが、天気と気温の関係でうまくいかず、磯永吉や末永仁らの農学者の努力でついに1925年に山口県系統の米「中村」が栽培できて蓬莱米(台湾産日本種)と命名されました。「台中六十五号」は1929年に完成した、初めて日本品種の交雑でできた蓬莱米3番目の品種、しかも台



株式会社はつもみちで醸造された「台中六十五」

湾の気候に適応した優秀な品種です。

今回、「はつもみち」での酒造りは、戦前の総督府研究所が台湾で発見した麹菌と酵母菌を初めて使用して「台中六十五 ORIGIN OF TAIWAN」ができました。原料すべてが台湾と日本につながるものを使って、児玉神社の近くにある酒蔵で酒を醸すとは、児玉源太郎を祀る児玉神社(黒神直大宮司)の指導としか考えられません。毎日出勤前に児玉神社に参拝して、良い酒ができるようにお願いしています。

台中六十五の醸造を始めて以来、いろいろなご縁が続き、李登輝氏や沖縄台湾人戦没者慰霊祭への献酒など、ありがたい機会をいただきました。たくさんの方の応援が支えてくださり、私はこれからも台湾と日本をつなぐ酒を醸し続けます。



児玉源太郎顕彰会会員の皆さんとの架け橋になるのがこの「窓」のコーナーです。活動を伝える「本丁通信」も8号を重ねます。会員からの手紙や葉書、メールも徐々に届くようになりました。映像教材(DVD)「児玉源太郎 未来を築く」(全3巻)を購入してご覧になられた会員からお便りが届きました。

DVDを鑑賞して

藤 政 孝 志

(周南市在住)

このたびは遅くなりましたにもかかわらず、早々と対応していただき感謝いたしております。

国会図書館をはじめ、各県の図書館、岩手県の後藤新平先生の記念館、宮崎県の小村寿太郎先生の記念館にご配布とのこと、感激いたしました。

これも皆様方のご尽力の賜と敬意を表しております。いつの日か児玉源太郎先生をはじめ、このお三方がNHK大河ドラマや民放各社の年末年始の長時間ドラマの主

人公としてとり扱われる番組を見たいものと思っております。

時候のご挨拶、感謝の言葉を添えた2月2日付の丁寧なお手紙を有り難うございました。役員をはじめ、事務局スタッフの励みになりました。

DVDを見て語り合いたい

片 山 緑

(周南市在住)

今年のお正月は、例年と違い家族だけでの時間がたつぷりとあつてDVDを鑑賞しました。

改めて、児玉源太郎の55年の生涯は艱難辛苦を乗り越えて天才的な決断力と実行力によって充実したものでなかったかと思えます。その力によって台湾の基礎を作り上げ、日露戦争の勝利をもたらしたのではないのでしょうか。

かつて司馬遼太郎の「坂の上の雲」のドラマで見た光景をこのDVDで再び拝見し、ドラマの中の乃木大将と児玉大将の会話を思い出しました。いつも感じます。大将の眼差しには威厳と優しさと百年先の世界への想いがあふれているように思います。これからも周南市の誇るべき宝です。

私事ですが、図書館の巡回文庫を長年利用して歴史に興味がわき、趣味の一つとなった読書の原点が、周南市立中央図書館の前身とも言

令和3年度会員

4月から募集スタート

継続会員もどうぞ手続きを！

児玉源太郎顕彰会も令和3年度で6年目に入ります。コロナ禍でさまざまな制約を受けながらも、おかげさまで順調に事業を展開しています。

命日の7月24日を児玉源太郎の号にちなんで「藤園忌」と定めて始めた児玉神社の命日祭や興元寺の墓前供養、茶会と俳句募集も今年で5回目を迎えます。茶会は7月17日(土)に開催予定、俳句は6月と7月の2か月間募集します。

組織も山下武右さん(山下内科医院院長)が2代目会長に就任してよいよ3年目。初代会長の小川亮さん(元徳山市長)の遺志を継いで積極的な姿勢で動かしています。役員会で令和3年度事業計画と収支予算の案を協議し、5月22日(土)の総会にお諮りします。会報「藤園」6号も総会にあわせて発行します。

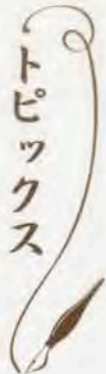
4月から令和3年度会員の募集

える児玉文庫とのご縁だと感じています。孫たちが帰省できる日が来れば皆で集まり、DVDを見て語り合いたいものです。

を始めます。2年度会員の方は引き続きご継続を、さらに新規会員への呼びかけもご協力ください。2年度の会員は寄付7件、賛助49件、個人307件の計363件。ここ数年横ばいで推移しています。皆さんとともに400件をめざして頑張りましょう。

基本は2千円の個人会員を増やすことですが、個人としても1万円以上の賛助会員は大歓迎です。同封の会員募集チラシをご参照ください。同封の振替用紙は郵便局専用です。銀行振込の場合はお名前と連絡先を事務局までお知らせください。





俳句特選を掲示板に

児玉源太郎顕彰会が、周南市岐山通三丁目の児玉源太郎生家跡「生誕の地」に2018年(平成30)4月17日掲示板を設置、以来「藤園忌俳句」特選3句をはじめ、ニユースレター「本丁通信」最新号を掲示してお知らせしています。



「藤園忌俳句」特選などをお知らせする掲示板

く流れ藤園忌(周南市・赤坂満子)、「大将の口髭なぞる晩夏かな」(下松市・矢野万里子)、「擦れ違う人に髭ある藤園忌」(山口市・山縣愁平)の6句を紹介しています。

子らの遊ぶ姿が微笑ましく

「生誕の地」は土地を所有していた徳機株式会社(岡田哲矢社長)が設立80周年記念で2014年(平成26)8月に周南市に寄贈したのを機に整備されました。翌年9月に「生誕の地」としてオープン、市民に親しまれています。



「生誕の地」でボールを投げて遊ぶ子どもたち

高校生が下校途中ベンチに腰掛けて談笑したり、子どもらがボールを投げて遊んだり、大人が散歩中に立ち寄って掲示板の俳句に目を留めたり、さまざまな光景が見られます。その姿は微笑ましいです。

編集室より

往路は船旅、帰路は鉄旅

川上 浩史

児玉源太郎は、日露講和に向け政略を協議した後、明治38年5月に奉天への帰路、鉄道を用いました。とはいえ、釜山から京城(現ソウル)は、日本の株式会社建設中だったものを開戦後、国が関与して同年1月、京城から北は、開戦とともに軍用鉄道として着工し新義州まで4月に、それぞれ開通したばかりでした。

さらに、満州の安東から先は軍用軽便鉄道で、戦線の北上に伴い目的地を奉天に変更する工事中でした。

帰路は視察を兼ねたのでしようが、道中で後藤新平や寺内正毅に手紙を發しています。源太郎が兵站総監として関与したこれらの鉄道は、後に大陸と日本を結ぶ重要な役割を担うこととなります。(新南陽郷土史会事務局長)

子どもたちへ

松本久美子

周南市内の小学3、4年生がふるさとについて学ぶ社会科の副読本「わたしたちの市 周南」。今回改訂されるにあたり、新たに児玉源太郎を紹介するページが盛り込まれることになり、

治にかけて日本の近代化に尽力した源太郎の姿を偲ぶこともできます。どうぞご利用ください。

内容のことで私も編集担当の先生の相談にのる機会がありました。

児玉神社の黒神直大宮司さんのお話や、「ふるさとの若者たちのために」というタイトルで、児玉源太郎が私設の図書館「児玉文庫」をつくったことも紹介されます。児玉源太郎顕彰会で製作したDVDと合わせてこの副読本を通して、子どもたちの中に、児玉源太郎のことが残ってくれば嬉しい限りです。(周南市美術博物館学芸課長)

新たな出会いに感謝

西崎 博史

児玉源太郎とその時代を明らかにしたいと、顕彰会を設立してまもなく5年になります。幕末から明治にかけて日本の近代化の進展に尽力した55年の生涯。さまざまな書物が刊行されて新たに紹介できるものがあるのか心配でした。

いざ組織を動かしてみるといろいろな情報が入ってきました。顕彰会という器を作ることがいかに大切か。源太郎ファンだけでなく歴史に興味をもつ人たちが全国に広がり、次々と話題が提供されます。奥州市の後藤新平顕彰会、札幌市の新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会との出会いにも感謝の一言です。(児玉源太郎顕彰会事務局長)